

片手で持てるコンパクトサイズの決定版



※AN90ソーラーの場合、外部バッテリー使用時にソーラーは使用できません。

付属品 通電ケーブル、アースケーブル、12Vバッテリーケーブル
アース棒900mm1本

※付属品は保証対象外です。



☑ 単一乾電池又は12Vバッテリーで使用可能

単一乾電池4本(別売)または12Vバッテリー(別売)で使用できます。乾電池だけでもおよそ40日程度使用できます。片手で持てるコンパクトサイズで、移動も簡単。家庭菜園などの中・小規模農場から小規模放牧まで幅広く使える人気モデルです。

☑ 2種類の作動モード。夜のみ又は24時間作動。



AN90Sは、夜のみ又は24時間作動の2パターンから選択できます。作動時間を減らすことで、省エネ(電気代の節約)にもつながります。

※野生動物対策の場合、常時作動をおすすめします。

[オプション] AN用スタンド

・長さ74cm
※AN90ソーラーにはもともと付属しています



☑ ソーラータイプなら電池の持ちが2倍に!

AN90ソーラーなら、単一乾電池4本で最大80日使用可能。日中はソーラーパネル、夜間や日照が少ないときは内蔵の乾電池で作動する仕組みです。※AN90ソーラーの場合、外部バッテリー使用時にソーラーは使用できません。

☑ その他機能

パルス間隔表示ライト、パルス間隔調整機能(2.5秒毎、1.5秒毎)

型式名	サイズ/重量	実働推奨距離/高負荷時推奨距離	最大出力エネルギー	最大電圧(V)
パワーボックスAN90S	直径90×H200mm/0.62kg※1	1~3段張) 400m/4段張~) 200m	0.12ジュール	7,500V
パワーボックスAN90ソーラー	直径90×H200mm スタンドH740mm/1.4kg※2	1~3段張) 400m/4段張~) 200m	0.12ジュール	7,500V

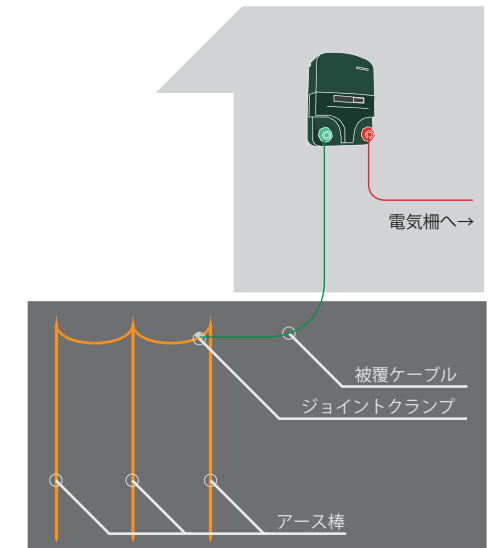
※1:単一乾電池収納時 1.2kg ※2:単一乾電池収納時 2.0kg

アース



アースは電気柵に不可欠です。必ず正しく設置しましょう。アースがしっかり取れていないと、本器の性能を活かし切れません。

地上に出ている部分の腐食が進み錆が酷くなると、アースとしての役割も果たさなくなってしまう。アースはすべて地中に打ち込んでください。



型式名	適用パワーボックス	セット内容内訳
基本アースセット	X1~3S、SXシリーズ、CBシリーズ	緑ケーブル5m、ジョイントクランプ1個、専用アース棒3本一体型
X6i用アースセット	X6i	基本アースセット×2セット
X15i用アースセット	X15i	基本アースセット×6セット
大型アースセット	X15i、X6i	アース棒(2m)×3本、アースクランプ×3個、被覆ケーブル15m
アース棒90cm	ANシリーズ	アース棒(90cm)
追加アース棒セット	アースが不足している際に使用	アース棒(90cm)×1本、銅ヨリ線2m、ジョイントクランプ1個

バッテリーほか

EBシリーズは、充電・放電が繰り返されるソーラーシステムに最適のバッテリーです。深い放電にも耐える特徴を持っています。



【EB50使用イメージ】

型式名	適用パワーボックス	性能
EB100	X15i、X6i、X3S向け	定格電圧12V/定格容量100Ah(5時間率)
EB50	X2S、X1S、CB2.3、CB1.2、AN90向け	定格電圧12V/定格容量50Ah(5時間率)
SXシリーズ専用バッテリー	SXシリーズ専用	定格電圧12V/定格容量7Ah(20時間率)
12Vバッテリー充電器(ソーラー本器用)	SXシリーズ専用	

24時間365日。 離れた場所でもパワフルに。



自宅から遠く離れている圃場、電源供給のない場所では、ソーラーパネルとバッテリーの併用がおすすめです。充電などバッテリー管理の手間を軽減し、電気柵本器を安定的に稼働させることができます。



※設置イメージ

☑ 取付けが簡単になって再登場！ 10-30Wタイプ

架台の脚部を起こし、ボルトナットで固定するだけで架台の組立が完了。従来タイプよりも大幅に時間を短縮することが出来るようになりました。さらに充電コントローラーも最初から接続。現場で設置する手間を最小限にすることを念頭に考案されました。(45W以上は架台部が異なります)

☑ 専用支柱、充電コントローラーが付属！

設置に関する資材がすべて一式になっているので、すぐに組立・設置が可能です。充電コントローラーは過充電を防止するなど、様々な機能により、バッテリーを最適な状態に保ちます。
(充電コントローラーの単品販売も可能です。詳しくはお問合せください。)



型式名	適用パワーボックス	パネルサイズ/重さ(接続キット含む)	適用バッテリー
10W	X1S用	W285×H340×D23mm/3.9kg	EB50
20W	X2S、CB1.2用	W340×H540×D23mm/4.8kg	EB50
30W	CB2.3用	W340×H760×D23mm/6.2kg	EB50
45W	X3S用	W670×H540×D23mm/9.6kg	EB100
60W×1枚以上	X6i用	W670×H760×D23mm/12.0kg	EB100×1台以上
60W×3枚以上	X15i用	W670×H760×D23mm/36.0kg	EB100×2台以上

※ソーラーパネル、バッテリーサイズ、枚数は設置環境や条件によって異なります。
※45W以上のソーラーパネルは架台部が異なります。

※X6i、X15iのパネルは省エネモード作動時の枚数です。

抵抗値が低いワイヤーを選びましょう

抵抗値の低いワイヤーのほうが、より遠くに、より強く電気を伝えることができます。つまり、抵抗値の低いワイヤーのほうが電圧を高く保つことができます。

設置距離に合わせたワイヤーを選びましょう。



しっかり連結することでワイヤーを延長

ポリワイヤーは内部に編み込まれている金属線同士が触れ合うように連結させることで、ワイヤーを延長させることができます。しっかりと連結させるには大きく2つ方法があります。



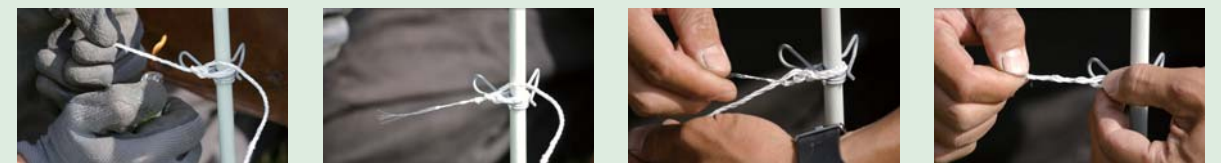
①専用の連結金具を使う

金具自体にも電気が流れるので、より金属線同士が触れ合いやすくなり、しっかりとした連結ができます。

②ライターを使ってポリエチレン(樹脂部)を溶かし、金属線をしっかりと巻きつける

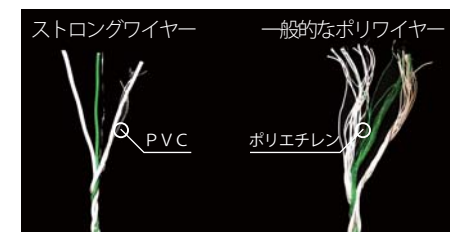
ポリエチレンは樹脂でできているので、ライターを使うことで溶かすことができます。そうすると、金属線がむき出しになるので、それをしっかりとワイヤー同士に巻きつけることで、よりしっかりとした連結ができます。

端部処理の場合



①ライターであぶる ②金属線がむき出しになる ③金属線をワイヤーに巻きつける ④よじるように巻きつけ完成

ストロングワイヤーの場合、ポリエチレンではなくPVC仕様になっています。従来のポリエチレンのように切断面が細かくばらけることがないので、ライターを使わなくても簡単に金属線だけを取り出すことができます(イージーリンク機能)。



ワイヤーの劣化、交換のポイント

長く使っているとポリワイヤーも徐々に劣化していきます。ポリエチレン部がポロポロになっている、金属線が断線している、スパークして焦げたあとがあるなどの個所が見つかったらワイヤーの交換がおすすめです。



電気柵とは？

各動物仕様

パワーボックス(本器)

アース・ソーラーパネル

ワイヤー

ポール・端子

管理ツール・安全用品

リール・ゲート・その他